

「救命救急センターに指定されました」

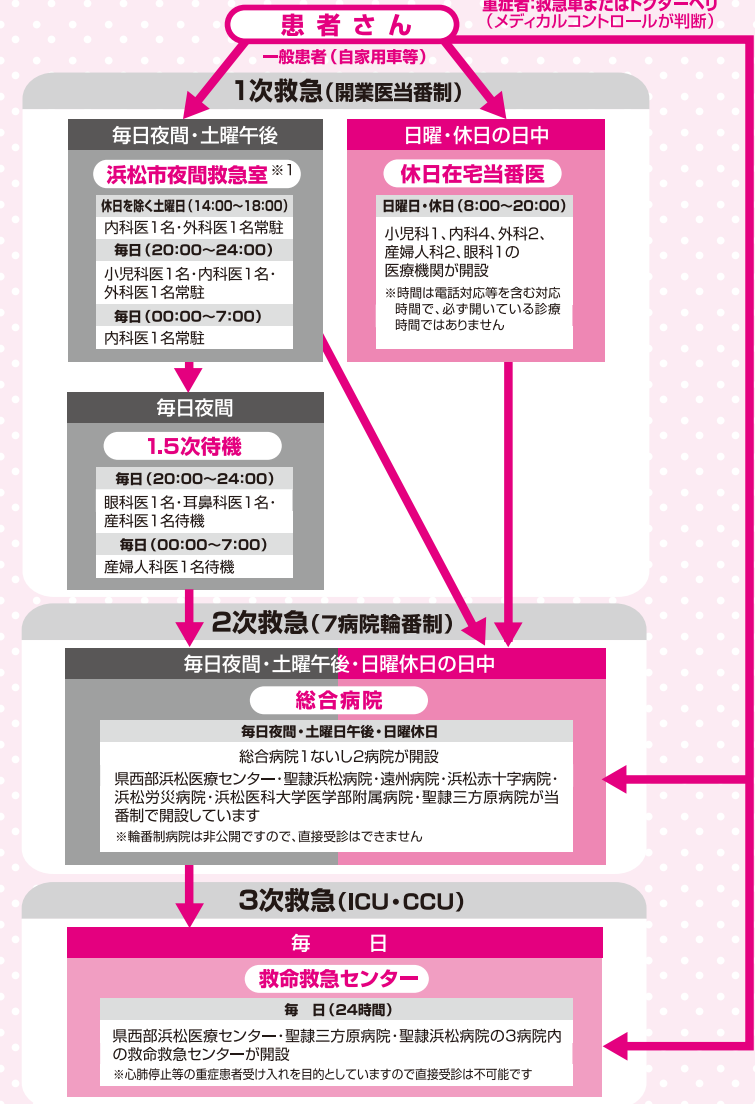
聖隷浜松病院は2010年5月に救命救急センターに指定されました。ここでは、当院での役割やセンターの機能について紹介します。

救命救急センターとは

聖隷浜松病院は2010年5月1日に救命救急センターとして指定されました。救急医療は、一次救急（軽症な患者の受け入れ）、二次救急（手術や入院を必要とする患者の受け入れ）、三次救急（緊急かつ極めて重篤な患者の受け入れ）に区分されており、救命救急センターは三次救急対応医療機関に当たります。当院はこれまで二次救急指定病院として、入院や手術が必要な患者さんを受け入れてきました。現在は救命救急センターとして、さらに重症度が高く緊急性の高い患者さんを受け入れる医療機関として運営しています。

浜松市の救急医療体制

(引用:浜松医師会ホームページ <http://www.hamamatsu-ishikai.com/yakan/yakan.html>)



当院の救命救急センターの機能と役割

救命救急センターでは、心肺停止、循環器疾患、脳疾患、多発外傷、指肢切断など重症の患者さんを受け入れています。当院の特徴は総合周産期母子医療センターと救命救急センターの機能を併せ持っていることです。例えば妊婦さんの脳卒中のケースでは、母体の治療と胎児の安全のための高度な対応ができます。浜松市では、県西部浜松医療センターと聖隷三方原病院が救命救急センターとして指定されており、このたび当院は浜松市で3番目の救命救急センターの指定を受けました。地域で救急医療の一翼を担う病院として、今後はより一層浜松地域の救急連携体制に貢献していきたいと考えています。



救急センター内部

ご協力をお願いします

最後に患者さんへお願いがあります。救命救急センターは、最重症の患者さんを最優先で治療することが目的の施設です。また、ひとりの重症患者さんの治療には多くの医師や看護師等が必要となりますが、それらの人員にも限りがあります。軽症の患者さんの対応で緊急の患者さんが受けられない、といった事態になりますと、浜松市の救急医療体制全体が危機的な状況になります。どうか当院の機能をご理解いただき、適正な運用のためにご協力をお願いいたします。

聖隷浜松病院 救命救急センター長 田中 茂

見る 聴く 触れる

世界の楽器が浜松に大集合!!

木の実? オブジェ? いえいえこれも楽器なんです!

浜松市楽器博物館



1995年にオープンして、2004年から館長を務める嶋和彦さんへお話をうかがいました。

楽器博物館との出会いについてお聞かせ下さい

もともとは大阪出身で、浜松には知り合いもないし駅に降り立ったこともありませんでした。本業は中学校の教員だったので、楽器博物館の助言者である音大の先生にこの仕事を勧められました。世界中の楽器を平等に展示しようというコンセプトのこの博物館ですが、幸か不幸か私はどの楽器も全部好きでした。好き嫌いがなかったんです。それで、新しくはじめるこの仕事に魅力を感じてチャレンジしてみることにしました。楽器博物館との出会いが、浜松にくるきっかけにもなったのです。

館内のお見どころやおすすめの楽器はありますか?

展示品では、1765年のフランスのチェンバロが世界的に貴重なものです。インドネシアジャワ島の青銅のガムランとバリ島の青銅ガムラン、バリ島の竹のガムラン、この3つが揃っているのは世界でここだけです。どの楽器も珍しいので、おもしろいと思いますね。ヨーロッパの19世紀のピアノで現在でも演奏可能なものもあります。ときどき演奏会も行っていますよ。



2010年1月からは電子楽器の展示を開始しました。60〜70年代のシンセサイザーやエレキギターなど、メーカーさんの協力を得て展示しています。古いものから新しいもの、そして世界中のものが揃っています。ヘッドフォンやモニターで音を聴いたり映像をみることもできますよ。リニューアル後は体験ルームも広くなり、実際に演奏することもできます。



好きな楽器はありますか? 嶋さん自身が普段楽器を演奏することはありますか?

どの楽器も好きですが、リコーダーはずっと昔からやっています。日曜日に展示室でときどきミニコンサートを行っています。1年に1回くらいはそこで私もリコーダーを吹きますね(笑)。演奏するのはリコーダーですが三味線も尺八もインドの太鼓も、なんでも好きです。聴いているとやりたくくなりますね!

館長として目指すところ。今後の夢はありますか?

年間来館者数は平均9万人なんです。8割は市外や県外の方です。どうやってお客さんを集めていくかは今後の課題の一つですね。また、展示室に入った瞬間に夢があつて、何かを感じるような雰囲気や場所にしていきたいですね。見えるもの、聴こえるものが別世界となるようなそう、デザイン・ランドに負けないくらい(笑)。人間の知識や技術・感情・歴史が詰まっている楽器をどうやって伝えていくか、情報を発信する工夫をどうするかなどが課題であり目標です。



館長の嶋和彦さん

浜松市楽器博物館
〒430-7790 静岡県浜松市中区中央3-9-1 開館時間 9:30~17:00
TEL053-451-1128 FAX053-451-1129 休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の時には翌日。8月は無休)
ホームページ <http://www.gakkihaku.jp> 12/29~1/3
メールアドレス wakuwaku@gakkihaku.jp その他、臨時に休館する場合があります